

広報委員長会議次第

開催日時 令和7年(2025年)12月2日(火)

午後1時30分から

開催場所 市役所3階全員協議会室

1 開 会

2 市長挨拶

3 議 題

(1) 12月の広報事項

- ① 生誕120年記念特別展「横田七郎 一彫刻と版画と」の開催について
(生涯学習課)

- ② 津波警報等発表時の対応について
(防災対策課)

- ③ 小田原市地域防災計画の改正について
(防災対策課)

(2) 市政への要望事項等

- ① 12月の市政への要望事項等

4 閉 会

《 資料データを市ホームページで公開しています 》

「トップページ」⇒「小田原で暮らす」⇒「行政経営」

⇒「広報・広聴」⇒「広報委員」⇒「広報委員長会議」



生誕 120 年記念特別展「横田七郎 —彫刻と版画と—」の開催について

1 概要

小田原を拠点に活躍した彫刻家であり版画家である横田七郎の展覧会を、2 会場で開催します。Part I では二宮金次郎を題材にした彫刻、インドやマヤに取材した木版画や木彫、漢字の祖である金文（きんぶん）をモチーフにした作品約 40 点を展示し、Part II では魚や果物を扱った作品、相撲、ラグビー、軍鶏など躍動感ある場面をとらえた作品等約 100 点を紹介します。

■Part I

【会期】2025 年 12 月 18 日（木）～24 日（水） ※会期中無休

【時間】10:00-17:00

【観覧料】無料

【場所】小田原三の丸ホール 展示室

【主催】小田原市郷土文化館

■Part II

【会期】2026 年 1 月 10 日（土）— 3 月 8 日（日） ※会期中無休

【時間】9:00-17:00（入館は 16:30 まで）

【場所】小田原市郷土文化館分館 松永記念館

【観覧料】一般 500 円 20 名以上の団体 400 円

高校生以下・障がい者手帳提示者及びその介護者 1 名・福寿カード提示者は無料

【主催】小田原市郷土文化館

2 関連イベント

◆基調講演と座談会

【日時】2026 年 2 月 8 日（日）14:00-15:30

- ・基調講演「横田七郎の生涯と作品について」勝山滋氏（平塚市美術館 館長 代理）
- ・座談会「横田七郎の思い出」小泉政治氏（元八小堂書店社長）横田八郎氏（横田七郎 長男）聞き手：勝山滋氏

【場所】松永記念館 本館 2 階

【定員】30 名

【申込】1 月 10 日より電話にて先着順（小田原市郷土文化館 TEL:0465-23-1377）

【参加費】無料（ただし展覧会のチケットをお買い求めの上ご参加ください）

◆担当学芸員によるギャラリートーク

【日時】2026 年 2 月 21 日（土）14:00～14:30

【場所】松永記念館

【参加費】無料（ただし展覧会のチケットをお買い求めの上ご参加ください）

生誕
120年記念特別展

横田七郎

— 彫刻と版画と —



Part I

2025年12月18日(木) — 24日(水) ※会期中無休

会場 | 小田原三の丸ホール 展示室

時間 | 10:00-17:00

観覧料 | 無料

Part II

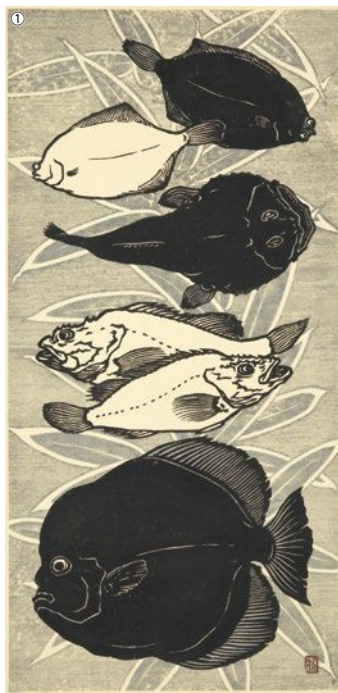
2026年1月10日(土) — 3月8日(日) ※会期中無休

会場 | 小田原市郷土文化館分館 松永記念館

時間 | 9:00-17:00 (入館は16:30まで)

観覧料 | 一般500円 20名以上の団体400円 ※チケットは別館にてお求めください
高校生以下・障がい者手帳提示者及びその介護者1名・福寿カード提示者は無料

主催 | 小田原市郷土文化館



横田七郎(1906-2000)は、小田原を拠点として活躍した彫刻家であり版画家です。本展では、おもに2018(平成30)年に本市に寄贈された530点あまりの作品と資料の中から約130点を選び、作品のテーマで括って2か所の会場にてご紹介します。横田は彫刻家・佐藤朝山(玄々)に師事し、1929(昭和4)年、身近な食べ物や生き物をモチーフとした素朴ながら観察力の光る木彫作品が日本美術院展覧会(院展)で初入選して、彫刻家としての道を歩み始めます。戦後は制作のかたわら小田原市内の中学校・高校で教鞭をとり、1958(昭和33)年、市主催の成人学校で版画の指導を依頼されたことを契機に木版画も手掛けるようになりました。1966(昭和41)年頃から漢字の祖ともいえる中国の古代文字「金文」をもとにした作品制作に着手し、60代ではインドを三度訪れて、遺跡や人々の暮らしに想を得た多くの作品を生み出します。70代ではさらに南米やアフリカを旅して作品化。80代では、ラグビーや相撲、パレエなどを題材とした躍動感あふれる作品も展開しました。市内には《二宮尊徳回村の像》(小田原市尊徳記念館)をはじめ、数多くの野外彫刻も残されています。93歳で没するまで終生探求心を絶やさず、多様なモチーフに挑戦し続けた横田。2026年に生誕120年を迎えるのを記念して、その歩みを振り返ります。



横田七郎 撮影:福田一郎

- 表面《めざし》木彫 1930年
 ①《さかな》木版 1981年
 ②《骸》木彫 1929年 平塚市美術館蔵
 ③《やどかり》木彫 制作年不詳
 ④《寿》木彫彩色 1983年
 ⑤《ボンコツの山》木版 1972年
 ⑥《廃船》木彫 1969年
 ※特記のないものは小田原市郷土文化館蔵

関連イベント

基調講演と座談会

日 時 | 2026年2月8日(日)14:00-15:30

14:00-14:30 基調講演「横田七郎の生涯と作品について」
 勝山滋氏(平塚市美術館 館長代理)

14:30-15:30 座談会「横田七郎の思い出」
 小泉政治氏(元八小堂書店社長) 横田八郎氏(横田七郎長男)
 聞き手:勝山滋氏

場 所 | 松永記念館 本館2階 定 員 | 30名

申 込 | 1月10日より電話にて先着順(小田原市郷土文化館TEL:0465-23-1377)

参加費 | 無料(展覧会のチケットをお買い求めの上ご参加ください)

担当学芸員によるギャラリートーク

日 時 | 2026年2月21日(土)14:00-14:30

参加費 | 無料(展覧会のチケットをお買い求めの上ご参加ください)

小田原三の丸ホール(展示室)

〒250-0012 神奈川県小田原市本町1丁目7-50

TEL: 0465-20-4152

交通のご案内

[電車] JR東海道新幹線・東海道本線、小田急小田原線、伊豆箱根鉄道大雄山線、箱根登山鉄道「小田原」駅 東口から徒歩約13分
 [バス] 小田原観光回遊バス(うめまる号)「めがね橋」停留所下車 徒歩約1分/箱根登山バス・伊豆箱根バス「幸町」停留所下車 徒歩約2分/「市民会館前」停留所下車 徒歩約3分
 [車] 一般利用者の駐車場はありません。周辺のコインパーキングにお停めいただくか、公共交通機関での来場にご協力ください。

小田原市郷土文化館分館 松永記念館

〒250-0034 神奈川県小田原市板橋941-1

TEL: 0465-22-3635

交通のご案内

[電車] 箱根登山鉄道「箱根板橋」駅下車 徒歩10分
 [バス] 小田原駅東口より箱根登山バスH・T・TP線または伊豆箱根バスZ・J・U・P線乗車
 「上板橋」停留所下車 徒歩6分/「箱根板橋」停留所下車 徒歩10分
 [車] 無料駐車場(20台)有



津波警報等発表時の対応について

令和 7 年 7 月 30 日、相模湾に津波警報が発表されたことに伴い、本市では沿岸地域に避難指示を発令するとともに、市内全域に注意喚起の防災無線放送を実施しました。

その後、改めて神奈川県津波浸水想定図等により、本市において想定される津波の高さと、それに伴う浸水想定区域を確認したうえで、避難指示を発令する地域、警報等の種類、タイミングについて検討した結果、津波注意報、津波警報、大津波警報が発表された際に、市民に対して発令する避難情報の基準について、次のとおり整理しました。

1 警報等の種類と避難について

種類	発表される 津波の高さ	避難対象区域
大津波 警報	10m超 (10m<予想高さ) 10m (5m<予想高さ≤10m) 5m (3m<予想高さ≤5m)	<ul style="list-style-type: none">・江之浦・根府川・米神・石橋・早川の JR 線より南側の地域・浜町 2～4 丁目、中町 3 丁目、南町 2～4 丁目、本町 3～4 丁目、東町 1～2 丁目、東町 4～5 丁目、西酒匂 1～2 丁目、酒匂 2～5 丁目、小八幡 1～3 丁目、国府津 1～4 丁目・国府津の森戸川（天神橋～富士見橋）流域・前川・羽根尾・中村原の JR 線より南側の地域及び中村川流域の一部（中村原第 4 公園より下流）
津波警報	3m (1m<予想高さ≤3m)	海岸、漁港内、河口周辺
津波 注意報	1m (0.2m<予想高さ≤1m)	※避難指示は発令されません。

2 今後の周知について

①チラシ回覧（12 月）

②チラシの対象地区への戸別配布（1 月）

万年、幸、十字、片浦、早川、山王網一色、酒匂・小八幡、国府津、前羽、下中

③防災ナビ、メール、市ホームページ

④広報紙（令和 8 年度）


小田原市からののお知らせ

発行：小田原市役所防災対策課 TEL：0465-33-1855



津波から命を守る

津波による災害の発生が予想される場合には、地震発生後、約3分で大津波警報、津波警報、津波注意報が発表されます。その後、**予想される津波の高さ、津波の到達予想時刻等**の情報が発表されます。警報の種類や、**津波災害警戒区域**（浸水するおそれがある区域）の内側・外側などいる場所によって、取るべき行動（避難行動）が異なります。

	津波の高さ	市内で取るべき行動（避難行動）
大津波警報	巨大 10m超 (10mー)	<div>警戒区域内では</div> <div>津波災害警戒区域外に水平避難 または 基準水位2m以下の 2階以上へ垂直避難  ※大津波警報が解除されるなど、 安全が確認できるまでは待機</div> <div>警戒区域外では</div> <div>津波災害警戒区域に近づかない</div> <div>※津波災害警戒区域は、各自、ハザードマップでご確認ください。</div>
	10m (5mー10m)	以下の地域にいる人に、市から避難指示が発令されます ○江之浦・根府川・米神・石橋・早川のJR線より南側の地域 ○浜町2～4丁目、中町3丁目、南町2～4丁目、本町3～4丁目、東町1～2丁目、東町4～5丁目、西酒匂1～2丁目、酒匂2～5丁目、小八幡1～3丁目、国府津1～4丁目 ○国府津の森戸川（天神橋～富士見橋）流域 ○前川・羽根尾・中村原のJR線より南側の地域及び中村川流域の一部（中村原第4公園より下流） ※上記の地域内には、津波での浸水が想定されない場所もあります。
	5m (3mー5m)	大津波警報が発表されたとき、大きな揺れを感じたときは 、市からの避難指示を待たずに、安全な場所（津波災害警戒区域の外側や高い場所）へ避難してください。
津波警報	高い 3m (1mー3m)	海岸、漁港内、河口周辺からはなれてください。 以下の場所にいる人に、市から避難指示が発令されます。 ○海岸、漁港、河口
津波注意報	1m (0.2mー1m)	海の中にいる人は、ただちに海から上がってください。 ※津波注意報の発表だけでは、避難指示は発令されません。

避難指示の伝達方法

Jアラート、防災行政無線（サイレンありで沿岸地域のみ放送）、
緊急速報エリアメール、防災ナビ、防災メール、ホームページ ほか

小田原市 ハザードマップ

— 自分の命を災害から守る地図 —
Disaster prevention hazard map



小田原市

ハザードマップで確認を！ ～どこへ避難する？～

ハザードマップは、洪水・土砂災害・高潮・津波などの災害リスクの情報を、地区ごとに一元化しています。

市内全域を8地区に分割していますので、お住まいの地区のハザードマップをご確認ください。

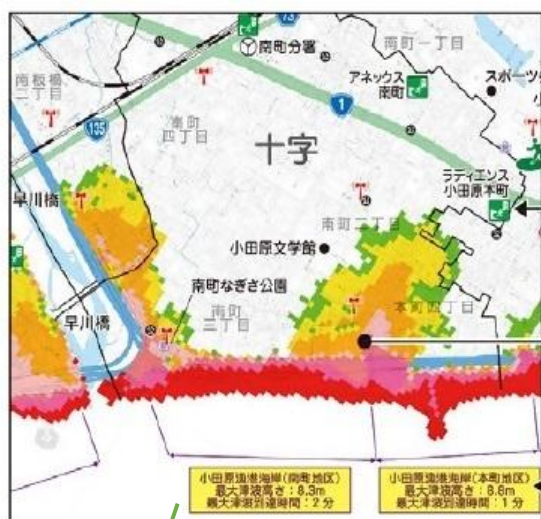


小田原市の津波ハザードマップは、最新の知見に基づき、本市における最大クラスの津波※が発生した場合の到達時間や津波の最大高、浸水域、浸水の深さ（基準水位）などを示した地図で、津波避難ビルの場所も掲載されています。

皆さんも、津波ハザードマップを活用し、自分がいる場所や状況に応じた「いざというときの避難行動」を再度確認してください。

※相模トラフ沿いの海溝型地震<西側モデル>による津波

津波ハザードマップの見方



地区別に津波の最大高(m)と到達時間(分)を表示しています。

(津波避難ビル)



津波災害警戒区域と基準水位

浸水するおそれがある区域です

基準水位凡例

20.0m以上
10.0～20.0m未満
5.0～10.0m未満
4.0～5.0m未満
3.0～4.0m未満
2.0～3.0m未満
1.0～2.0m未満
0.3～1.0m未満
0.3m未満

基準水位とは



ハザードマップは
次の場所で受け取れます

- ・市役所3階防災対策課
- ・市役所2階市民ロビー
- ・尊徳記念館
- ・アークロード市民窓口
- ・川東タウンセンターマロニエ
- ・城北タウンセンターいずみ
- ・橘タウンセンターこゆるぎ
- ・かながわ西湘農業協同組合
(城南、片浦、酒匂、足柄、
成田、下中支店
各支店の地区に該当するハザードマップを受け取れます)

小田原市地域防災計画の改正について

小田原市地域防災計画は、市民の生命、身体及び財産を災害から保護するため、災害対策基本法第 42 条の規定に基づき、市の災害対策について、災害予防、災害応急対策及び災害復旧に関する事項を定め、防災対策を総合的かつ計画的に実施するものです。

このたび、災害対策基本法の一部改正に伴う、国の防災基本計画や県の地域防災計画等の改正及び富士山火山避難基本計画、近年の防災施策の推進等を踏まえ改正を行うため、改正案をまとめましたので、主な内容をお知らせします。

1 主な改正内容について

(1) 国防災基本計画の改正 (R7.7) を踏まえた改正

- ア 避難所における状況把握や福祉サービスの提供等、生活環境の整備について記載
- イ 避難所以外の場所に滞在する被災者への支援について記載

(2) 南海トラフ地震防災対策推進基本計画の変更 (R7.7) を踏まえた改正

- ア 南海トラフ巨大地震発生確率の修正
- イ 県内の南海トラフ地震防災対策推進地域の更新
- ウ 南海トラフ地震臨時情報防災対応ガイドライン名の修正と気象庁が発表する南海トラフ臨時情報の修正

(3) 県地震被害想定調査報告書 (R7.3) を踏まえた改正

- ア 市内の被害想定調査結果一覧の更新
- イ 市内の津波による被害の更新

(4) 津波避難対策についての改正

- ア 避難対象区域の追加
- イ 遠隔地での地震発生に伴う津波避難対策の追加

(5) 火山災害対策についての改正

- ア 富士山火山噴火を、溢流的噴火（溶岩流）、爆発的噴火（火山灰）に区分、過去の宝永噴火・貞観噴火や富士山火山避難基本計画を参考に、市独自の状況の推移等を記載
- イ 避難対策として、避難誘導や避難所の確保・準備・運営、自主避難の推奨について記載（溶岩流の場合、溶岩流が流入する地域の一部住民が、溶岩流の流入しない地域（市内）に避難）
- ウ 緊急交通路及び緊急輸送道路等の確保対策として、降灰による交通への影響、降灰作業用資材の確保、火山灰処分の検討、火山灰仮置き場の検討について記載
- エ 警報のレベル別に、発令時の対応について記載
- オ 噴火時の情報収集活動及び災害対策本部の配置と配備体制について記載

2 今後のスケジュール

令和 8 年 1 月 15 日～2 月 13 日 パブリックコメント実施

令和 8 年 5 ～ 6 月

防災会議幹事会及び防災会議にて協議・決定

3 地域防災計画に基づく個別計画の改正

(1) 小田原市トイレ確保計画

	改正後			改正前		
	1～3日 1基/ 50人	4～7日 1基/ 50人	30日～ 1基/ 20人	1～3日 1基/ 75人	4～7日 1基/ 75人	20日～ 1基/ 75人
1日当たり トイレ必要 人数(基数)	46,100人 (922基)	40,800人 (816基)	8,500人 (425基)	47,807人 (640基)	32,458人 (430基)	21,000人 (280基)
マンホール トイレ	186基	186基	186基	280基	280基	280基
仮設和式 トイレ	—	—	—	150基	150基	—
仮設洋式 トイレ	—	48基	156基	—	—	—
自動ラップ式 トイレ (ラップ数)	268基 (201,000枚)	236基	83基	—	—	—
携帯トイレ (便袋数)	468基 (351,000枚)	346基		210基	—	—

(2) 小田原市災害時備蓄計画

項 目	品 目	計画数量 (改正後)	計画数量 (改正前)
食料	①食料 ②乳児用ミルク (アレルギー対応を含む)	227,640食 390リットル	369,830食 750リットル
生活必需品	③毛布 ④大人用おむつ ⑤乳児・小児用おむつ ⑥生理用品 ⑦携帯トイレ ⑧トイレットペーパー ⑨自動ラップ式トイレ一式 ⑩ほ乳瓶	15,270枚 3,050枚 9,770枚 16,440枚 351,000枚 24,900巻 268セット (201,000回分) 1,950個	24,870枚 4,960枚 17,860枚 28,470枚 236,250枚 14,580巻 新規 3,750個
飲料水	⑪保存水 (ペットボトル500ml)	25,420本	41,340本
生活環境向上の ための資機材	⑫簡易ベッド ⑬避難所用パーティション	15,270台 8,000張	430台 610張
災害関連死対策 用資機材	⑭災害用ウェットティッシュ	25,420セット	新規

※神奈川県地震被害想定調査(令和7年3月)及び神奈川県年齢別人口統計調査(令和7年1月1日現在)の人数に基づき算出